

Minx XL ブックシェルフスピーカー

Manual Generated: 19/11/2024 - 11:46

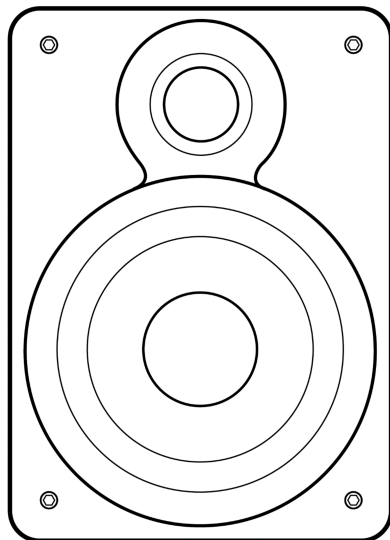


Table of Contents

Minx XL ブックシェルフスピーカー	3
はじめに	3
Minx XLスピーカーに含まれるもの	4
フロントパネル	5
リアパネル	6
インストール手順	7
技術仕様	8
よくある質問	9
トラブルシューティング	10

Minx XL ブックシェルフスピーカー

Last updated: April 23, 2024 12:54. Revision #12622



ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: January 19, 2023 05:44. Revision #10341

Cambridge Audio Minx XL ブックシェルフスピーカーをお買い上げいただきありがとうございます。スピーカーの視聴を長年楽しみいただけることを願っております。スピーカーは、接続されているシステムに比例した品質となります。アンプやケーブルを妥協なさらないようお願いいたします。もちろん、スピーカーと同じ厳格な基準に合わせて設計されたCambridge Audioシリーズのアンプを特に推奨しております。販売店は、システムがその潜在能力を最大限に発揮できるように、優れた品質のスピーカーケーブルを提供することもできます。

このマニュアルをお読みいただきありがとうございます。今後の参考のために保管しておくことをお勧めします。

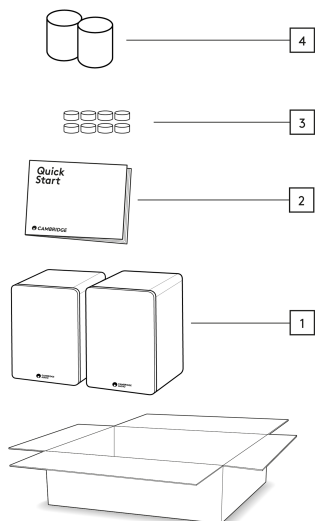
□ Copyright Cambridge Audio Ltd

新製品、ソフトウェアアップデート、キャンペーンなどに関するニュースの受信をご希望の方は、以下でご登録ください:

<http://www.cambridgeaudio.com/register>

Minx XLスピーカーに含まれるもの

Last updated: January 19, 2023 05:49. Revision #10342



1. Minx XL ブックシェルフスピーカー×2

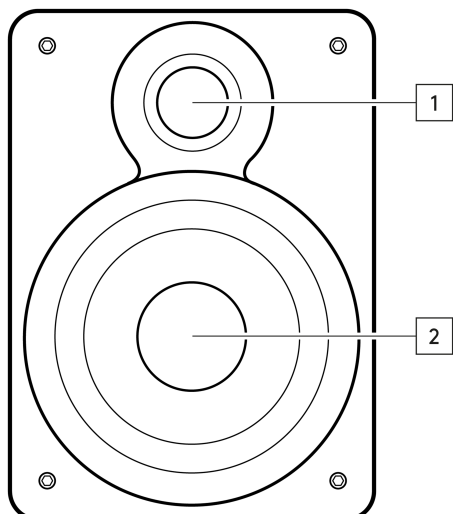
2. インストールガイド

3. ゴムパッド×8

4. フォームバンク×2

フロントパネル

Last updated: January 19, 2023 05:49. Revision #10343

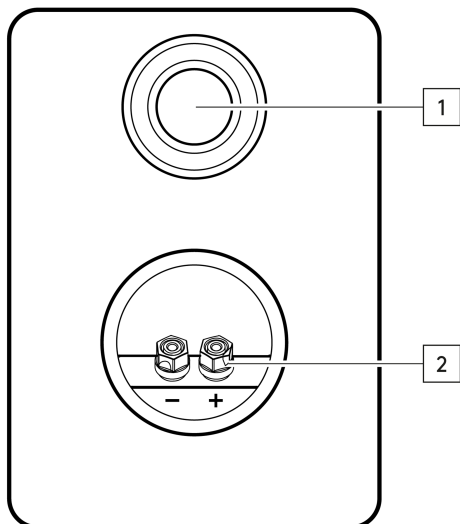


1. 1インチ(25mm)シルクドームツイーター

2. 5.25インチ(135mm)処理済みペーパーコーンドライバー

リアパネル

Last updated: January 19, 2023 05:51. Revision #10344



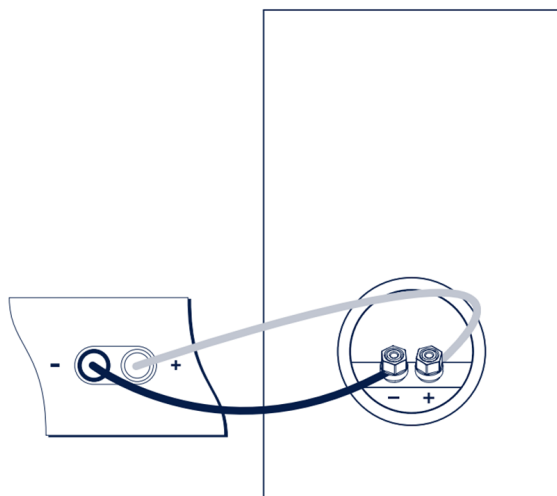
1. リアベースポート

2. +/-スピーカー接続端子

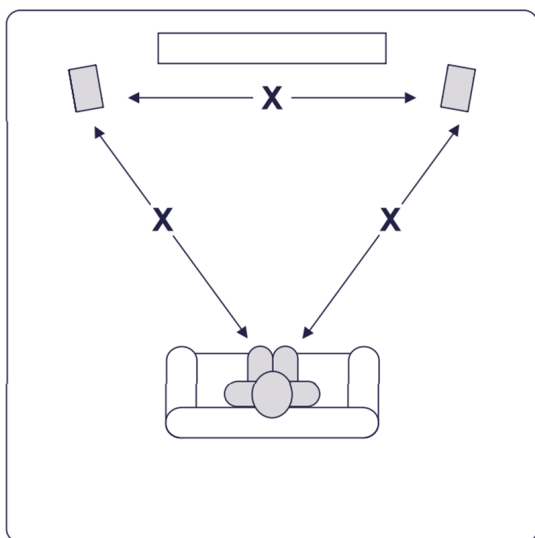
インストール手順

Last updated: January 19, 2023 05:51. Revision #10345

1. まず、高品質のスピーカーケーブルを使用して、Minx XLスピーカーをアンプのスピーカー端子に接続します。各接続の極性が一致するように細心の注意を払ってください。



2. 最後に、設置をするときは、スピーカーと視聴位置の距離を等しくすることをお勧めします。ただし、空間に適した解決策が見つかるまで、実験し続けることをお勧めします。



技術仕様

Last updated: January 19, 2023 05:51. Revision #10346

感度 (SPL)

87dB

周波数特性

50Hz - 22kHz

インピーダンス

8Ω

ドライバー

5.25インチ(135mm)処理済みペーパーコーン×1

1インチ(25mm)シルクドームツイーター×1

クロスオーバー

2ウェイ

推奨アンプ出力

10 - 100 W

移植

1 リア

スピーカー寸法 (高さ x 幅 x 奥行)

225 x 161 x 240mm (8.9 x 6.3 x 9.4インチ)

重量

3.0kg (6.6lbs)

よくある質問

Last updated: January 19, 2023 05:51. Revision #10347

スピーカー感度とはどういう意味ですか？

スピーカー感度とは、アンプから1ワットの電力を供給されたとき、スピーカーが1メートルで出すレベルのことです。これは、特定の入力に基づいて、スピーカーが音響エネルギーをどれだけうまく生成するかを説明する方法です。レベルはdB SPLで測定されます。これは「音圧レベル」の略語で、音は基本的に気圧の変動であるため、SPLと表示されている場合は、「現実世界での音」を意味します。例えば、87dBの感度のスピーカーと90dBの感度のスピーカーがあるとします。3dB増すごとにパワーが2倍になるので、90dBのスピーカーの方がかなり大きくなります。

クロスオーバーとは何ですか？

ほとんどのスピーカーには複数のドライバーがあります。ドライバはトランスデューサと呼ばれることもあり、あるタイプのエネルギーを別のタイプのエネルギー(この場合は電気エネルギーを音響エネルギー)に変換するデバイスです。ラウドスピーカーでは、低音用、中音用、高音用と複数のドライバーが必要な場合があります。この後者のドライバーは、しばしばツイーターと呼ばれます。この配置の利点を得るには、信号を異なる周波数成分に分割する必要があります。これを行う回路はクロスオーバーと呼ばれます。

インピーダンスとは何ですか？

スピーカーやアンプについて調べると、インピーダンスが言及されることがよくあります。インピーダンスは基本的に、特定の周波数で測定された抵抗であり、オーム(Ω)の値として与えられ、スピーカーによってアンプにかかる「負荷」を決定するため、オーディオシステムをセットアップするときに考慮することが非常に重要です。

たとえば、 8Ω のスピーカ負荷に100Wを供給する定格のアンプがあるとします。インピーダンスが 4Ω のスピーカを同じアンプで使うと、アンプの負荷が軽減され、インピーダンスが半分になると必要な電力が2倍になるため、アンプは200Wを供給する必要があります。

このような状況では、アンプが低インピーダンスに必要な電力を供給できない場合オーバーヒートし、アンプとスピーカーが損傷する可能性があります。

このため、アンプの仕様と推奨されるインピーダンス定格に注意を払うことが重要です。

トラブルシューティング

Last updated: January 19, 2023 05:51. Revision #10348

片方または両方のチャンネルからサウンドが聞こえない

- アンプの電源が入っていることを確認してください。
- アンプで正しい入力ソースが選択されていることを確認してください。
- アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
- ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。
- スピーカー接続の極性を確認してください。
- アンプの音声調節が正しく設定されていることを確認してください。

音が歪んでいる、または不安定

- アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
- スピーカー接続の極性を確認してください。
- ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。